

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 2 日現在

機関番号：32680

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530539

研究課題名(和文) 病院組織におけるソーシャルワーカーの専門的業務の形成過程に関する研究

研究課題名(英文) A Study of Social Work Practice within the Framework of a Psychiatric Hospital

研究代表者 岩本 操 (IWAMOTO MISAO)

武蔵野大学・人間関係学部・准教授

研究者番号：30326962

研究分野：社会福祉関係，医療・福祉，社会学

科研費の分科・細目：社会科学・社会学・社会福祉学

キーワード：ソーシャルワーカー，精神保健福祉士，専門職性，業務，精神科病院，インタビュー調査，修正版グラウンデッドセオリーアプローチ

1. 研究計画の概要

本研究は、精神科病院に勤務するソーシャルワーカー(SW)を対象とし、SWが病院組織から要請される「違和感のある仕事」への対応に焦点をあて、それらの仕事をSWの価値や理論に基づいて展開していくプロセスを明らかにすることを目的とする。

研究方法は、(1)文献調査、(2)グループインタビューによる探索的調査、(3)アンケート調査による実態調査、(4)上記の結果から調査項目と対象を限定し、修正版グラウンデッドセオリー(M-GTA)を採用した結果の分析、理論生成を試みる。

2. 研究の進捗状況

(1)文献調査：先行研究レビューを通して、SWが病院組織から「違和感のある仕事」を要請される背景・要因を整理した。本調査は継続実施中である。

(2)探索的調査：経験年数の異なる2つのグループインタビューを実施し、結果の複合分析を行った。「違和感のある仕事」の具体的内容、それらの評価と対応、経験年数による差を示した。

(3)実態調査：全国の精神科病院のSWを対象にアンケート調査を実施した(n=655)。結果としてSWの業務限定の是非に関する意見、「違和感のある仕事」の実態(実施度・期待度・評価)の結果が得られた。また項目間の関連分析により、「違和感のある仕事」の実施度・期待度・評価はそれぞれ正の相関にある傾向示された。経験年数が高いSWの方が有意に「業務範囲を限定すべきでない」と考える一方、「違和感のある仕事」への評価は肯定・否定のいずれかに偏ることが

示された。

(4)M-GTA研究：分析テーマと分析焦点者を設定し、精神科病院SW12名のインタビュー調査によるデータの収集を行った。現在データの分析中である。

3. 現在までの達成度

概ね順調に進展している。

当初の計画通り、平成22年度までに探索的調査、実態調査を実施し、一定の結果が得られている。またメイン調査となるM-GTA研究においても、調査の枠組みの修正を重ねた上で、データの収集を終えている。分析について研究法の助言を受けながら分析を進めているところである。

4. 今後の研究の推進方策

M-GTAによる分析結果の妥当性についてスーパーバイズを受け、結果の記述と考察を行う。調査全体の総合考察を行うとともに、現場で活用可能な実践モデルを示す。

5. 代表的な研究成果

[雑誌論文](計5件)

・岩本操，「精神科病院におけるソーシャルワーカーの『役割形成』に関する考察」，武蔵野大学人間関係学部紀要第5号，査読無，1-12，2008

・岩本操，「精神科病院におけるソーシャルワーク業務の形成過程に関する研究 管理職ソーシャルワーカーへのインタビュー調査からの考察」，武蔵野大学人間関係学部紀要第6号，査読無，143-155，2009

・岩本操，「精神科病床機能分化におけるソーシャルワークの課題 急性期病棟担当ソ

ーシャルワーカーへのインタビュー調査による考察」, 日本精神保健福祉士協会, 『精神保健福祉』78号, 査読有, 148 - 154, 2009
・岩本操, 「精神科病院におけるソーシャルワーカーの『役割形成』の試み グループインタビュー調査からの分析・考察」, 鴨台社会福祉学論集第19号, 83 - 90, 2010
・岩本操, 「ソーシャルワーカーの『役割形成』に関する文献的考察 病院組織におけるソーシャルワーカーの自己規定に着目して」, 大正大学大学院研究論集第35号, 査読無, 128 - 134, 2010

〔学会発表〕(計2件)

・岩本操, 「精神科病院におけるソーシャルワーカーの業務の形成過程に関する研究 グループインタビュー調査における分析・考察」第8回日本精神保健福祉学会, 2009年6月, 静岡
・岩本操, 「精神科病院におけるソーシャルワーカーの業務の形成過程に関する研究 - 2 アンケートによる実態調査の結果と考察」第9回日本精神保健福祉学会, 2010年6月, 沖縄